

こんにちは！会員ご紹介コーナー

佐久間製菓株式会社 東京・池袋 〒171-0014 東京都豊島区池袋2-51-13

代表取締役社長 **横倉 信夫**

佐久間製菓のホームページ <http://www.sakumaseika.co.jp/>



ご挨拶

みなさまに親しまれて114年



皆様に支えられ、サクマ式ドロップスは2022年(令和4年)に114年を迎えることができました。社会や価値観が変わり行く中変わらないスタイルを保ち続けたサクマ式ドロップス。お菓子が誰でも食べられる平和で豊かな社会となった今日まで、ご愛用頂いた沢山の皆様とともに存在し続けています。これからもお菓子が食べられることに感謝し、お菓자에敬意を払いつつ、全社一丸となりサクマ式ドロップスを造り続けて参ります。



本社



八王子工場

サクマ式ドロップスの歴史

サクマ式ドロップスとは？

千葉県長生郡の出身で当時和菓子の製造をしていた佐久間憲治郎は、英国より輸入されていたドロップを自分の手で作り、初の国産ドロップとして世に出すために研究に研究を重ね、ついに明治41年(1908年)、外国製品に負けないドロップを完成いたしました。新鮮な味覚と風味を生む独自の製法は「サクマ式製法」と呼ばれ、特許よりサクマ式ドロップスの登録商標が認められました。



創業者
佐久間憲治郎

戦後の復興

太平洋戦争の激化とともに、東京池袋の本社工場、大阪工場、海外の満州工場も戦火のため灰燼に帰しました。昭和23年、佐久間製菓は戦後の混乱の中、東京都南多摩郡出身の事業家、横倉信之助により復興されました。氏は戦前より台湾に渡り、医薬品の製造をはじめ食品の事業も手がけており、佐久間製菓とも関係が深かったため、当社の戦後の復興を依頼され、本社のあった東京池袋に工場を再建いたしました。



戦後初代社長
横倉信之助

シンボルマークは世界の海に向かって

サクマ式ドロップスのマーク(商標)は、三本の菱形の線に囲まれたヨットです。ヨットは貿易船を、菱形の三本の線は日本の三大港(横浜・神戸・長崎)を表しています。当時外国から輸入していたドロップを、逆に日本の三つの港から海外に輸出しようとの創業者の気概を示したマークです。



シンボルマーク

「創造力」と「知恵」

“想像力を豊かにし、常に自己革新をなし柔軟な発想とバイタリティあふれる行動力を持ち続ける”そんな企業を目指しています。



広研印刷株式会社

代表取締役社長 前川 光

〒171-0033 東京都豊島区高田3-3-16
<https://www.kohen-l-p.co.jp/>
 TEL 03-3208-8271(代表)
 FAX 03-3208-5133